

電波時計 取扱説明書
(掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 リズム株式会社〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の(使用上のご注意)を必ずお読みください。

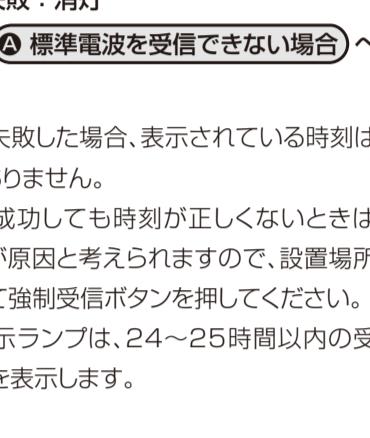
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



(電池の入れ方) ①



電池の+印を逆向きになると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

(裏面操作部)

日本語表記の場合

英語表記の場合

強制受信ボタン(RESET) ②

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに押します。

時刻合わせボタン(SET)

手動で時刻を合わせるときに使用します。不用意に触ると時刻が変わることがあります。

使用方法 電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。
○窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

① 電池ホルダーの(+)表示に合わせて電池を入れる

(電池の入れ方)を参照して電池を正しく入れてください。

② 強制受信ボタンを押す (標準電波・受信の流れとサーチ機能の使い方) 参照

受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送りで、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ 時計を掛ける

(時計の掛け方)に従い、時計を確実に掛けてください。

④ 受信開始から16分後に受信表示ランプで受信結果を確認する

受信表示ランプが約2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探すか、(④ 標準電波を受信できない場合)を参照してください。

標準電波・受信の流れとサーチ機能の使い方

② 強制受信ボタンを押す

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。

② 強制受信ボタンを押します。

受信表示ランプが約3秒点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。

③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、時計を移動します。

④ 電波の状態を確認します。

点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない→場所を移動する

○点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いため、受信に失敗する可能性があります。

○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

⑤ 受信結果を表示します。

受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯

(④ 標準電波を受信できない場合)へ

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。●場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓際やベランダなど電波の受信しやすい場所に移動させて再度受信を行ってください。●時刻を合わせる
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信しないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることによりご使用になります。

手動での時刻合わせ 電波を受信できないとき、任意の時刻に合わせるとき

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きにならないから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

④ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

時刻合わせボタンを押すと、針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押しつづけると早送りになります。

○時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されますが、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプが消灯したら電波受信機能OFFに成功です。

受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください。

電池寿命が約5年(標準電波の受信に成功して、秒針が平均月差±20秒(常温中のクオーツ精度))

1日あたり20秒(標準電波の受信に成功して、秒針が平均月差±20秒(常温中のクオーツ精度))

1日あたり20秒(標準電波の受信に成功して、秒針が平均月差±20秒(常温中のクオーツ精度))